



Close up
2

東日本大震災復興支援

「fukushima さくらプロジェクト」 で福島・東北を応援

写真提供：
森林総合研究所

コーセーは、2013年より東日本大震災の被災地への復興支援の一環として、福島・東北を応援する「fukushima さくらプロジェクト」に参加しています。当社ならではの取り組みを通じ、新種のさくらの苗木を日本各地へ広げる支援を行うことで、福島・東北を応援していきます。



fukushima さくらプロジェクト

大きな爪あとが残った東日本大震災の被災地では、日時の経過とともに、復興が着実に進んでいますが、福島では原発事故に伴う復興の遅れから、特に、直接・間接的な支援が必要な状況が続いています。

これを背景に福島の現状を忘れず、風化させないために「fukushima さくらプロジェクト」が2013年に立ち上げられました。多くの企業の参加（協賛）により、シンボルとなる新種のさくらを増やし、福島県から国内外に届けることを通じて、福島・東北を応援する機運を醸成する広報活動を行うプロジェクトです。

子どもたちが安心して暮らせる未来のために、それぞれの参加企業が福島発の新種のさくらを、さまざまな方法で多くの人々に伝え、行動を促すきっかけづくりをしています。

新種のさくらが全国に広がるまで

写真提供：
森林総合研究所



新種のさくらは森林総合研究所が開発し、福島・東北を応援するシンボルとして福島県に贈られたものです。2013年より、福島県森林研究センターに建設された苗木の養生ハウスで増殖を進め、2014年から福島県外への贈呈が開始されます。2016年からは順次全国各地へ贈呈し、拡大を進めることを想定しています。

2013年

2014年



全国で
開花



3月
苗木の増殖
芽の出た枝を採取して増やす「接ぎ木」で増殖させ、株分けしていきます。



7月
専用ハウス
郡山市内の福島県林業研究センターで大切に育てています。



12月
福島県内での植樹
震災後1000日を機に福島県会津若松市鶴ヶ城にて植樹イベント



3月
更に苗木を増殖
さくらの苗木を接ぎ木してさらに増やし、大切に育てています。

6月

各地へ順次贈呈
植樹を希望する団体・個人に苗木を順次贈呈していきます。



代表取締役社長
小林 一俊

「fukushima さくらプロジェクト」にかける想い ～「美」を通じて日本を元気に～

月日の経過とともに、被災地から離れた場所では、どうしても被災地で戦い続けている人々に思いを馳せる機会が減ってきています。そこで、化粧品と同じく、「美」を通じて人を笑顔にするさくらをシンボルとした「fukushima さくらプロジェクト」に参加することにいたしました。春になると毎年咲き誇り、震災のあった春でさえも健気に咲く桜を目にすることで、被災地に思いを巡らせるきっかけにな

ると思います。

私たちは以前から、「絆」をテーマにお客さまや販売店様へ向けた活動を行ってきました。このプロジェクトでも、福島発のさくらが復興の象徴となつて、被災地で頑張っている皆様や全国の皆様と強い絆を結ぶことでしよう。一日も早く、満開の「はるか」が各地の街を彩り、東北の心からの笑顔が戻る日がやってくることを願っています。

2013年度の取り組み ① 鶴ヶ城プロジェクトに協賛

2014年3月、昨年に続き「鶴ヶ城プロジェクト」が実施されました。福島県会津若松市の象徴たる「鶴ヶ城」の城壁に、新種のさくらが大輪の花を咲かせる様子をイメージした映像を投影。多くの人々に、「未来」へ向けたメッセージを発信しました。また、同時開催の「夢の春」デザインコンテストでは、福島県の小学6年生が制作した70作品が、作品に込めたメッセージとともに投影されました。満開になったさくらが、子どもたちに笑顔の花を咲かせるように、コーセーは今後も多方面から支援していきます。



(上) 色鮮やかに映し出された満開のさくらのイメージ
(下) 「鶴ヶ城」に集まった子どもたち

2013年度の取り組み ② 『エスプリーク』と『コスメデコルテ』を通じて 新種のさくらを拡大

2013年より、多くのお客さまにご愛用いただいている当社の代表ブランド『エスプリーク』と『コスメデコルテ』を通じて、全国に新種のさくらを広げる活動をしています。キャンペーン期間中、対象商品の外装箱に共通ロゴを表記して告知活動を行うとともに、お買い上げ金額の一部を増殖費用として寄付しています。2014年2月から実施された3回目のキャンペーンでは、対象商品の一つである「エスプリーク サクラプロツサム ルースチーク」の数量限定モデルを販売。容器やパフをはじめ、カラー、香りに至るまで新種のさくらをイメージしました。お使いいただくたび、福島・東北へ想いを馳せていただけるような新しい提案です。この商品は台湾でも販売し、復興支援の輪を広げています。



(上) 購買金額の一部が社会貢献につながる「エスプリーク」(下) ほのかなさくらの香りも楽しめるかわいいうろすチーク

VOICE



『fukushima さくらプロジェクト』 に想いを寄せて

福島支店美容スタッフ 佐藤 めぐみ

東 日本大震災・原発事故より、国内外の多くの方々にご支援いただき、人とのつながりや絆を強く感じています。

私たちは化粧品の力を信じ、震災後も直接触れ合うことを大切に、一人でも多くの方をキレイに、そして笑顔にする活動を続けてきました。このプロジェクトに参画することによって、新種のさくらの成長とともにさらに枝を大きく伸ばし、被災地の今を未来に伝えることができると期待しています。まずはふるさと福島から感謝の想いを込めて全力で取り組んでまいります。